

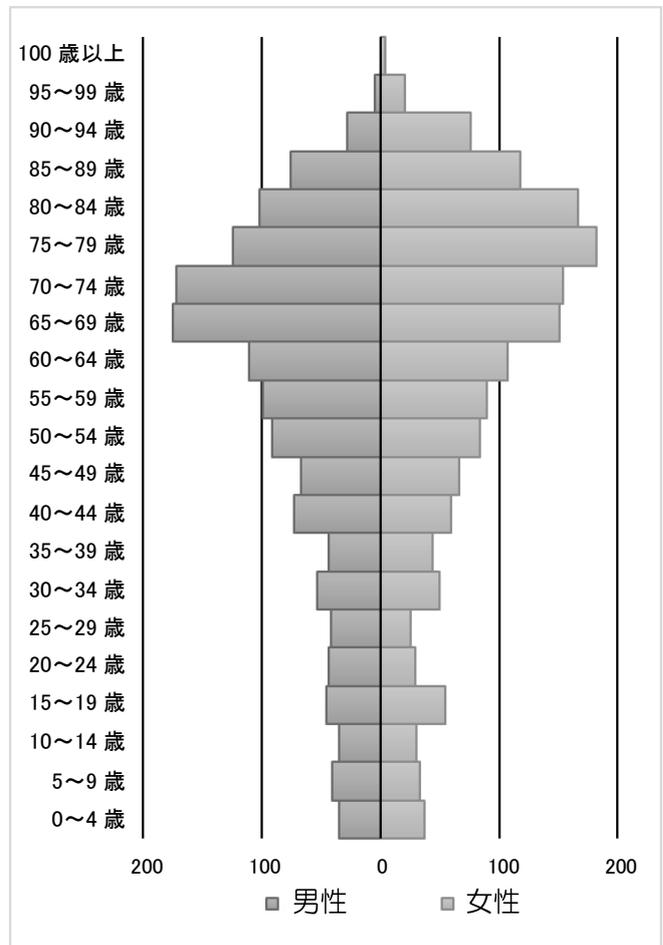
明浜地区

統計で見る地域の特性

人口	3,044
世帯数	1466
(1世帯当たりの人数)	2.1
年少人口	211
生産年齢人口	1,279
老年人口	1,554
(うち75歳以上人口)	902
高齢化率(小数点第2位使四捨五入)	51.1%
要支援認定者数	99
要介護認定者数	318
自治会数	27
サロン数(高齢者)	7
民生・児童委員数	16
(1人当たりの世帯数)	91.6

※ 特別養護老人ホーム(あけはま荘)、ケアハウス(はまゆう)の人口は除く
(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



「地域福祉の将来像を考える住民座談会」

開催日	1回目 令和元年7月30日(火)	2回目 令和元年10月8日(火)
会場	高山公民館 3階 大ホール	



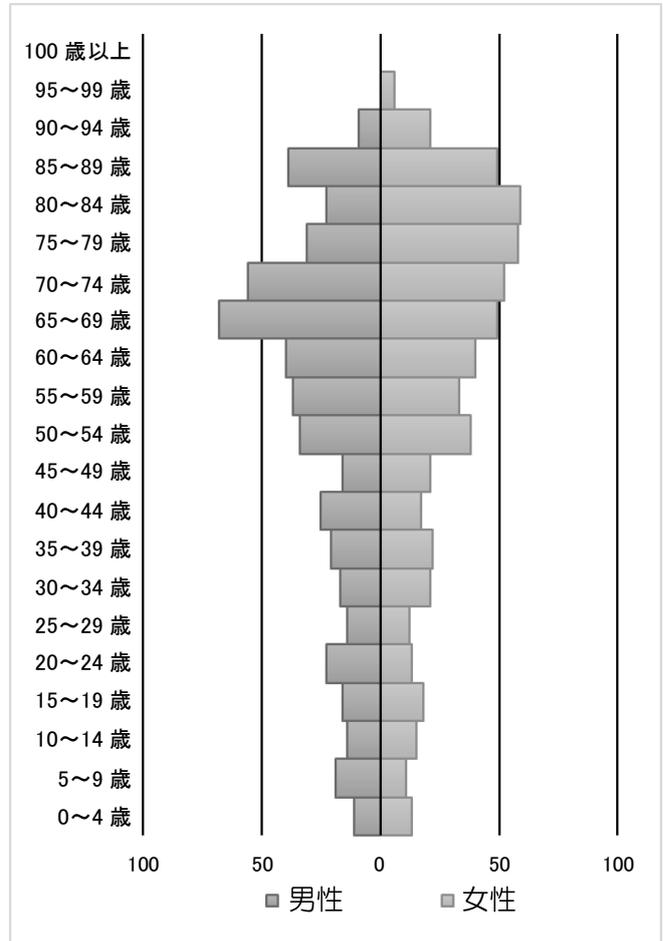
明浜町 俵津地区

統計で見る地域の特性

人 口	1,081
世帯数	511
(1世帯当たりの人数)	2.1
年少人口	83
生産年齢人口	478
老年人口	520
(うち75歳以上人口)	295
高齢化率(小数点第2位四捨五入)	48.1%
自治会数	9
サロン数(高齢者)	1
民生・児童委員数	5
(1人当たりの世帯数)	102.2

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

俵津地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・みかん栽培、真珠養殖、「アボカド友の会」でアボカドを栽培し地域に普及させたい
- ・農地に南予用水スプリンクラーが通っている

【健康・医療】

- ・診療所、クローケーチーム、ヨガ教室がある

【地域活動・教育】

- ・お祭り、俵津文楽などの伝統文化がある
- ・「俵津スマイル」「こせがれ会」「青年団」等、地域のさまざまな団体が活動している
- ・地域で住民宅の粗大ごみ回収をしている
- ・三世代奉仕作業や地域参観日がある
- ・民生児童委員・高齢者・子どもとの交流がある

【防災・安全】

- ・災害の意識が高く、定期的に避難訓練を実施
- ・自主防災クラブの活動で、地震や津波の避難が良くなった
- ・独居高齢者への声かけと見守り
- ・消防団があり活躍している

【生活環境】

- ・移動販売があり、食品店等も数店舗ある
- ・環境保全会、ホタル保存会、住民の一斉清掃
- ・老人会のおかげで、公民館の庭園がきれい
- ・高齢者の集まる場所がある

【その他】

- ・近所づきあいが良く、人も優しい

俵津地区の課題

<p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みかんの単価が安く、漁業が衰退している ・荒廃地が多く、荒廃園が増える ・雇用があっても、仕事を選んで来ない <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな病院が遠く「眼科・歯科」がない ・道路が崩落すると救急車が通れない ・マッサージ、針治療の必要性はあるが、施術してもらおうところがない <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方祭に若者の参加はあるが、見物する方は少ない ・婦人会に入会する方が少ない 	<p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難を呼びかけても「家に居る」と言われる ・避難場所に建物がない ・公民館の避難場所としての機能に不安 ・場所によっては防犯灯が暗い <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が少ない ・子どもたちの公園がない ・各所に古い暗渠があり、衛生上よくない <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者が多い ・地域の役が多く、引き受ける人に偏りがある ・あて職が多すぎる ・様々な面で無いことに慣れてしまっている
---	--

これからの俵津地区を考える

課 題	地域で行っていること	地域で出来ること	期間
・買物弱者の増加	・移動販売車、生協 ・弁当屋がある	・空き倉庫の活用	2年程度
・災害時の安全な避難が心配	・年1回の避難訓練 ・近隣高齢者への避難の呼びかけ	・危険場所の確認 ・家族や地域で避難について話し合う ・避難への組織体制	常に 行う
・少子化で地方祭が運営できなくなる	・中学生の協力がある	・お祭りの在り方の再検討 ・幅広い住民の協力	2~3年
・独居高齢者のゴミ出しが大変	・「俵津スマイル」からお金がでている	・近所でお互い様として助け合う ・ゴミ出し体制を話し合う場づくり	
・地場産業の後継者不足	・農地ヘルパー組合がある	・販売方法の検討(ブランド化) や従事し易い環境	

社協からのコメント

風光明媚な桜の名所「野福峠」の維持管理、災害時の対応に向けた活動等も活発に行っている。また「俵津スマイル、こせがれ会」など地域の様々なグループが積極的に活動し、次世代に繋ぐ地域づくりに熱心に取り組んでいる。伝統行事等の維持、継承にも尽力する中、少子高齢化による後継者不足等もあり、行事存続への手立てを地域で懸命に模索している。高齢者世帯を中心に「買物やゴミ出し等が出来難くなった」「病院や金融機関などが少なくなった」等、身体的、環境的な変化により、生活に不便を感じている住民も多いようである。

その中で、隣近所との繋がりが非常に深い地域でもあることから、既存する地域力を活かした課題解決への取り組みに期待している。

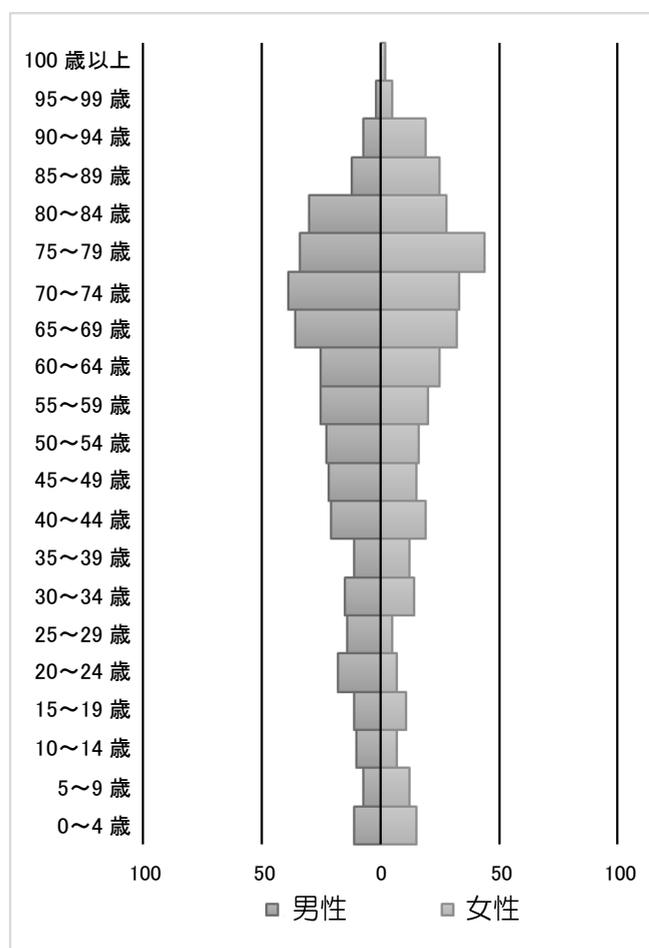
明浜町 狩江地区

統計で見る地域の特性

人 口	739
世帯数	333
(1世帯当たりの人数)	2.2
年少人口	62
生産年齢人口	329
老年人口	348
(うち75歳以上人口)	208
高齢化率(小数点第2位四捨五入)	47.1%
自治会数	5
サロン数(高齢者)	4
民生・児童委員数	3
(1人当たりの世帯数)	1.1

※ 特別養護老人ホーム(あけはま荘)、ケアハウス(はまゆう)の人口は除く
(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

狩江地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・真珠、ちりめんの特産品
- ・民間でマーケットを経営、無茶々園で若い人の雇用、外国人研修生の受入れあり
- ・介護施設での雇用

【健康・医療】

- ・サロンで体操
- ・かりえ笑学校でヨガ等の健康づくり
- ・配食サービス、介護施設がある

【地域活動・教育】

- ・かりとりもさくの会の地域づくり計画と実施
- ・サロン、サークル、各団体の活動が活発
- ・祭り等の伝統を受継ぐ、他行事の実施

【防災・安全】

- ・全国レベルの女子消防団がある
- ・自主防災の活動が活発、避難訓練・避難路の設置
- ・水害時には、住民が自主的に活動

【生活環境】

- ・集落がまとまっていて、生活状況が分かる
- ・近所の関わり強く、おすそ分けや協力がある
- ・移住者が多く、やさしい地域
- ・子どもが増えた
- ・狩浜の段畑等、景色が良い

【その他】

- ・楽しく、自由な雰囲気がある

狩江地区の課題

<p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人の働く職場が少ない ・後継者がいない <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療所が縮小され、病院が遠い <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議が多すぎる ・役職が多い <p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波の心配がある ・道が狭い 	<p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家が増えた ・移住者の住む家が少ない ・鳥獣害が多い ・交通の便が悪い ・児童館があれば良い <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人世帯が多くなる ・区費の徴収には限りがある（募金等の負担） ⇒活動費の確保 ・若い人が少ない
--	--

これからの狩江地区を考える

課 題	地域で行っていること	地域で出来ること
<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし高齢者の増加 (介護が必要になっても、一人で生活できる地域づくり) 	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンが活発 ・クローカー、カラオケで健康 ・配食サービス、食堂運営 ・集いの場の充実が見守りに 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯ベル等 緊急時の対応システム ・活動資金の確保
<ul style="list-style-type: none"> ・仕事、雇用について 	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜作り教室の実施 ・冷凍みかん等特産品の開発 ・高齢でも働ける環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人研修生を増やす ⇒空き家の利活用 ・70代以上の人の活躍
<ul style="list-style-type: none"> ・防災について 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の実施 ・災害時の要支援者名簿の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・名簿の更新
<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり計画に沿って活動 ・大学との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織を統廃合しシンプルに
<ul style="list-style-type: none"> ・交通が不便 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元でマーケットを運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ地元の商店を利用 ・福祉バス等今あるものを活用

社協からのコメント

<p>狩江地区は「かりとりもさくの会」の地域づくり計画に沿って、かりえ笑学校を拠点に地域づくりの活動を推進している。はっきりとした指針があり、座談会でも、あるものを最大限に活用し、ないものは作り出す姿勢、前向きに地域でできることをそれぞれが考えておられ、勉強になった。</p> <p>また、高齢になっても、活躍できる仕事を創出したり、組費などの限られた資金の中で、安心した暮らしができるよう高齢者の立場に立った区長の視点もすばらしいと感じた。</p> <p>介護が必要になっても、一人で安心して生活できる地域づくりのために、サロンや集いの場を充実させ、配食サービスや食堂の運営を地域で行い、見守りに繋がられている。</p>

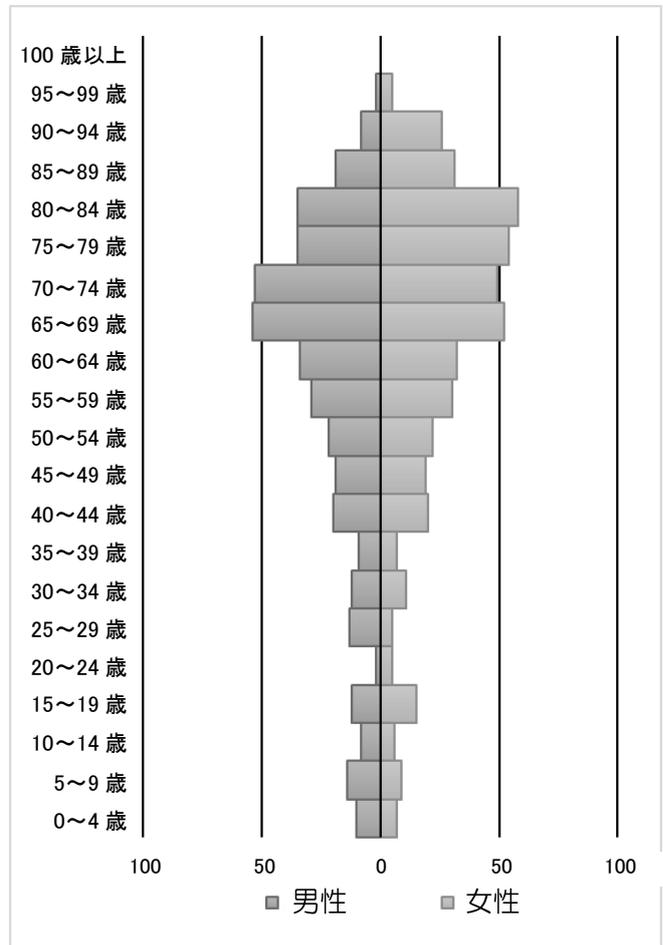
明浜町 高山・宮野浦地区

統計で見る地域の特性

人 口	873
世帯数	462
(1世帯当たりの人数)	1.9
年少人口	54
生産年齢人口	338
老年人口	481
(うち75歳以上人口)	273
高齢化率(小数点第2位四捨五入)	55.1%
自治会数	9
サロン数(高齢者)	1
民生・児童委員数	6
(1人当たりの世帯数)	77

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

高山・宮野浦地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- あけはまシーサイドサンパークがある
- ミカン栽培が盛んでみかんジュースがおいしい
- 養殖(鯛、ブリ)、ちりめん漁が盛ん
- 特産DB(段ボール)作成販売をしている

【健康・医療】

- 自然の中、ウォーキングをする人が多い
- お金をかけずに健康作りができる
- 個人病院(歯科医、内科)がある

【地域活動・教育】

- 盆踊り、秋祭り、七夕様が賑やか
- 高齢者への弁当配布
- 帰省困難者への墓掃除代行

【防災・安全】

- 年1回避難訓練をしている
- 自主防災組織がある
- 鍵を閉めなくても安全である

【生活環境】

- 自然豊かできれい(海・山)
- 人間は少ないが静かで生まれ育った所が良い

【その他】

- 住民全体が顔見知り
- 口は悪いがお人好しでのどか
- 日本の発祥地は明浜である
- かつば伝説、鯨様の言い伝えがある

高山・宮野浦地区の課題

<p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の働く場所、地元の勤務地がない ・生製品の単価が安い ・耕作放棄地が増えている <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院が遠い ・医療難民、買い物難民ができはじめた ・健康センターの器具不足で利用者なし <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の交流の場、子どもとの関わりが少ない ・各種団体の消滅、休会 ・役になるのを嫌がる人が多い 	<p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年避難訓練に高齢者が少なくなっていく ・避難場所まで高齢者が逃げられない ・災害が多い地域で不安ばかり <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者にとって交通の便が悪い ・日本一道の悪い国道378号 ・空き家が増加している ・高齢化している <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊ぶ場所がない ・学校がなくなって寂しい ・車の増加
--	---

これからの高山・宮野浦地区を考える

課題	地域で行っていること	地域で出来ること
・役になるのを嫌がる人が多い	<ul style="list-style-type: none"> ・後任を個人で見つけている ・選挙で決めている ・区長2年⇒神社総代2年のルールがある。組長は順番に回す 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の意識改革を行う ・役職の分散 ・ルール作り
・各種団体の消滅・休会	<ul style="list-style-type: none"> ・規約改正 	<ul style="list-style-type: none"> ・団体間の交流（横の繋がり） ・組織再編 ・魅力作り
・地域活動への参加者が少ない		<ul style="list-style-type: none"> ・活動の場を演出する
・避難場所まで高齢者が逃げられない	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回避難訓練を行う ・備品備蓄の購入、配置 	<ul style="list-style-type: none"> ・「事前復興」について協議 ・福祉避難所
・子どもとの関わりが少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・子（親子）への読み聞かせ ・秋祭り（いのこ） ・七夕飾り教室、餅つき 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども広場の整備

社協からのコメント

<p>眼前に宇和海が広がり、背後を山々に囲まれた自然豊かな中、ウォーキングをする人も多く、温暖な気候のもと、養殖やちりめん漁、みかん栽培が盛んである。住民同士は顔見知り治安が良い。また、盆踊りや秋祭りの継承・活性化させるために積極的な活動を展開している。安全安心して暮らせる地域づくりとして年1回の避難訓練を欠かさず、自主防災組織も活発に活動している。しかし、避難場所まで高齢者が逃げられないといった課題も出ている。人口減少により各種団体の消滅・休会、役のなり手不足で、組織再編の検討などさまざまな課題も多いと思われる。</p>
--

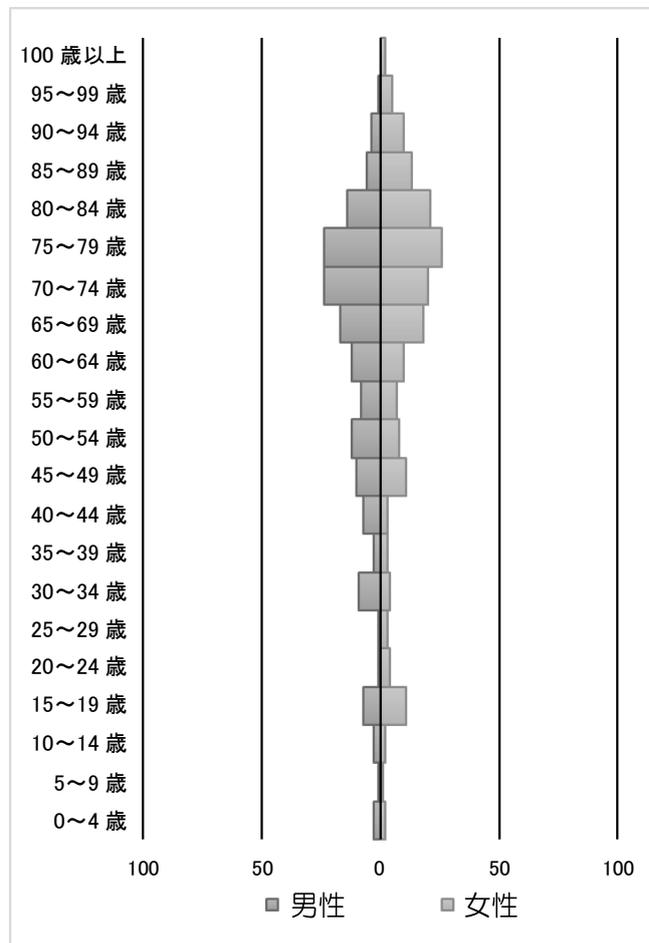
明浜町 田之浜地区

統計で見る地域の特性

人 口	351
世帯数	160
(1世帯当たりの人数)	2.2
年少人口	12
生産年齢人口	134
老年人口	205
(うち75歳以上人口)	126
高齢化率(小数点第2位四捨五入)	58.4%
自治会数	4
サロン数(高齢者)	1
民生・児童委員数	2
(1人当たりの世帯数)	80

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

田之浜地区の良いところ

【健康・医療】

- ・健康体操が定着しつつある(サロン)
- ・老人クラブのクロッキー部で、健康・楽しみづくりに取り組んでいる

【地域活動・教育】

- ・花を植える活動をしている
- ・花づくり活動に取り組んでいるグループがいる
- ・野菜のおすそ分けがある
- ・隣の人の事を気にしている(独居老人)
- ・若者グループが地域行事に参加してくれる
- ・運動場を歩くと、出会った人に声かけや話しなどをする
- ・おかずの販売がある

【防災・安全】

- ・自主防災がある
- ・消防団にまとまりがある
- ・海岸の整備で、波が以前より上がらなくなった
- ・土砂崩れの時、すぐに対応してくれる企業がある

【生活環境】

- ・大崎灯台から見る景色がきれい!
- ・魚がうまい
- ・海があるため、魚介類をおかずとしている人が居る
- ・困りごとを助ける気持ちの素地はあると思う

田之浜地区の課題

<p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭小な僻地の為、産業おこし、企業誘致は皆無で、働き場所が限定的 <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院が遠い <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独居老人が心配 ・地域のリーダー・コーディネーター等、地域づくりに積極的に関わる人材不足 ・愛護班の活動が休止（子どもの減少のため） 	<p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に高齢者の避難が心配 <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aコープの撤退など、必需品がすぐに手に入らない（店がない） ・空き家が多い ・老人の集う場所が少ない ・道がせまい ・学校が遠い ・子どもが少ない
--	---

これからの田之浜地区を考える

課 題	地域で行っていること	地域で出来ること
<ul style="list-style-type: none"> ・Aコープの撤退など、必需品がすぐに手に入らない（店がない） 	<ul style="list-style-type: none"> ・生協の利用 ・魚やおかずの移動販売 ・衣料品の移動販売 ・Aコープ委託店がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・生協の注文用紙の記入手伝い ・出るついでに、頼まれると買って帰る（買い物代行） ・買い物支援の移送サービス ⇒行政に希望（個人では、事故やお礼が心配）
<ul style="list-style-type: none"> ・独居老人が心配 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回、安否確認とお弁当配り（民生児童委員） ・老人クラブ役員による状況確認・把握 ・お困り事相談（NPO 活動の大崎の光） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域みんなで、見守り・声掛け ・家庭訪問サロン ・高齢者のシェアハウス（空き家活用） ・お困り事相談の拡大を希望（大崎の光） ・廃校の活用
<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に高齢者の避難が心配 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災による安否確認 ・年2回の避難訓練 ・台風後の様子確認（民生児童委員） 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の充実を検討する（意識づけ）
<ul style="list-style-type: none"> ・老人の集う場所が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に7回サロン開催 ・「憩いの家」を老人クラブ会員のカラオケに開放している 	

社協からのコメント

<p>豊かで綺麗な海があり、海産資源に恵まれた地域である。野菜のおすそ分けをしたり隣の人（独居高齢者）を気に掛けるなど地域の繋がりが強く、また、老人クラブ、花づくりなど地域の活動も活発に行われている。しかし、高齢化率が高く、また商店や病院が遠いことなどにより、独居高齢者の生活が心配されおり、地域の繋がりが強さを生かして、支え合い活動の充実を図って頂きたい。</p>
